

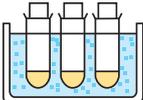
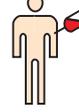
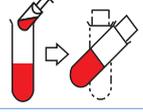
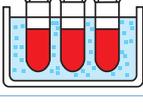
項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名		
血液凝固検査	0432 フィブリノゲン <small>2B100-0000-022-311-01</small>	血漿0.2	23	冷蔵	1~2	23 血液	トロンビン法	mg/dL 200~400	3.2%クエン酸ナトリウム液入り容器に血液を正確に入れ良く混和。 3000rpm,10分遠心、血漿を分離して、凍結または冷蔵保存したものを提出して下さい。凝固やフィブリン析出の場合は検査不能となります。	DIC 血栓症 白血病 感染症 悪性腫瘍 妊娠高血圧症候群		
	0411 プロトロンビン時間 (PT) <small>2B030-0000-022-311-00</small>	血漿1.0		冷蔵		18 <sup>①</sup> 血液	Quick一段法	凝固時間 11.0~13.0秒 活性値 80~120% INR 0.9~1.1		外因系凝固因子欠乏症 DIC 肝障害 ビタミンK欠乏症 ワーファリン療法時のモニター		
	0415 トロンボテスト (TT) <small>2B035-0000-022-311-00</small>	血漿1.0		冷蔵		18 <sup>①</sup> 血液	オーレン法	% 70~100		ビタミンK依存性凝固因子 肝障害 新生児出血症		
	0416 ヘパラスチンテスト (HPT) <small>2B045-0000-022-311-01</small>	血漿1.0		冷蔵		29 <sup>②</sup> 血液	オーレン法	% 70~130		内因系凝固因子欠乏症 ビタミンK欠乏症 肝障害		
	0414 活性化部分トロンボプラスチン (APTT) <small>2B020-0000-022-311-00</small>	血漿1.0		冷蔵		29 血液	エラジン酸活性化法	秒 25.0~40.0				
	2361 血小板第4因子 (PF4) <small>2B620-0000-022-023-01</small>	血漿0.3		冷蔵		3~5	178 血液	EIA法		ng/mL 20以下	必ず専用容器にて採取 下記参照のうえ 操作は厳守のこと  ※02	DIC 血栓症 凝固亢進 血小板減少症
	5359 β-トロンボグロブリン (β-TG) <small>2B600-0000-022-023-01</small>			冷蔵			177 血液			ng/mL 50以下		

①プロトロンビン時間とトロンボテストを同時に施行した場合は主たるもののみ算定。

②全血凝固時間、ヘパラスチンテスト及びフィブリノペプチドを実施した場合は、他の検査で代替できない理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

$$INR = PR^{ISI} \quad (INR \text{ 計算式}) \quad PR (\text{プロトロンビン比}) = \frac{\text{患者血漿のPT値 (秒)}}{\text{正常血漿のPT値 (秒)}}$$

ISI:トロンボプラスチン試薬の国際感度指数

β-トロンボグロブリン (β-TG)、血小板第4因子 (PF-4) の採血方法																													
容器形態	検査項目	保存	採取方法	注意事項																									
 27  (真空採血禁止)	β-トロンボグロブリン (β-TG)	凍結	 あらかじめ専用容器 (27) を冷却しておいてください。	砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。																									
			 できるだけ20ゲージ (19~21ゲージでも可) の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器 (27) を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)	真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。また、止血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																									
			 針を取って静かに専用容器 (27) のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2~3回反転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。専用容器は振とうさせないでください。																									
			 専用容器を速やかに砕氷水と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																									
以上の操作を2分以内に行なってください。																													
内容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸  貯蔵方法 遮光・冷蔵  有効期間 1年	血小板第4因子 (PF-4)	凍結	 砕氷水に15~30分間放置後、採取血液を2,000Gで30分間、2~4℃で遠心分離してください。(右表は2,000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) *遠心器回転数の計算式 G=1.118×10 <sup>-5</sup> ×r×n <sup>2</sup> r:遠心器のローター半径 (cm) n:1分間あたりの回転数 (rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																									
			 上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで各0.3mL検体容器へ採取してください。血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。(血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。(1ヶ月安定)	換算表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4,200</td> <td>22</td> <td>2,800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3,800</td> <td>24</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3,500</td> <td>26</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3,300</td> <td>28</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3,100</td> <td>30</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4,200	22	2,800	12	3,800	24	2,700	14	3,500	26	2,600	16	3,300	28	2,500	18	3,100	30	2,400	20
半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)																										
10	4,200	22	2,800																										
12	3,800	24	2,700																										
14	3,500	26	2,600																										
16	3,300	28	2,500																										
18	3,100	30	2,400																										
20	3,000																												



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準 値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
凝固因子検査	2351 凝固因子第2因子 2B350-0000-022-311-01	血漿各0.3	23	冷蔵	3~5	229 血液	凝固時間法	75~135 %	※02	先天性プロトロンビン欠乏症 新生児出血症 肝実質障害	
	2352 凝固因子第5因子 2B370-0000-022-311-01					229 血液		70~135 %			先天性第V因子欠乏症 肝実質障害
	2353 凝固因子第7因子 2B380-0000-022-311-01					229 血液		75~140 %			先天性第VII因子欠乏症 肝実質障害
	2354 凝固因子第8因子 2B390-0000-022-311-01				3~5	229 血液	ヒト欠乏血漿による補正法	78.0~165.0 %	※01	血友病A DIC フォン・ウィルブラント病 肝実質障害	
	2355 凝固因子第9因子 2B400-0000-022-311-01					229 血液	凝固時間法	70~130 %	※02	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※02	血友病B DIC ビタミンK欠乏症 肝実質障害 血栓性疾患
	2356 凝固因子第10因子 2B410-0000-022-311-01					229 血液		70~130 %	※02		先天性第X因子欠乏症 肝実質障害 妊娠後期
	2357 凝固因子第11因子 2B420-0000-022-311-01					229 血液		75~145 %	※02		先天性第XI因子欠乏症 DIC 膠原病 肝実質障害 血栓性疾患
	2364 凝固因子第12因子 2B430-0000-022-311-01				229 血液	50~150 %		※02	先天性第XII因子欠乏症 DIC 肝実質障害		
	2385 凝固因子第13因子抗原量 2B440-0000-022-062-01				3~4	229 血液	ラテックス凝集反応	70~140 %	※01	先天性第XIII因子欠乏症 DIC 肝実質障害 巨大血管腫	
2358 凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒター) 第8因子 2B460-0000-022-311-01	血漿1.0 (単独検体)	23	冷蔵	3~6	155 血液	Bethesda法	1.0 以下 BU/mL	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※01	血友病A		
2359 凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒター) 第9因子 2B470-0000-022-311-01	血漿1.0 (単独検体)	23		3~6	155 血液		1.0 以下 BU/mL		血友病B		
5423 vW因子抗原定量 (フォン・ウィルブラント因子抗原定量) 2B480-0000-022-062-01	血漿0.2	23	冷蔵	3~5	155 血液	ラテックス凝集反応	50~155 %	※02	フォン・ウィルブラント病		
1134 vW因子活性 (フォン・ウィルブラント因子活性) 2B480-0000-022-316-31	血漿0.3			3~6	136 血液	固定血小板凝集法	50~150 %	※01	フォン・ウィルブラント病		

① 「第8因子」、「第9因子」の定量測定を行った場合に、それぞれの測定1回につきこの項で算定する。

血液学的検査



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0427	プラスミノゲン活性 (Plg) 2B260-0000-022-315-31	血漿0.5	23	冷蔵	3~5	100血液	発色性合成基質法	75~125 %	※02	DIC 先天性プラスミノゲン欠乏症 血栓性静脈炎 慢性炎症 悪性腫瘍 肝実質障害 血栓溶解療法時のモニタリング
0442	アンチプラスミン活性 (α2プラスミンインヒビター) 2B270-0000-022-315-31	血漿0.5		冷蔵	3~5	134血液	発色性合成基質法	85~115 %		DIC 線溶亢進 肝硬変 肝癌 先天性アルファ2PI欠損症 線溶療法時のモニタリング
0412	アンチトロンビンⅢ (AT-Ⅲ) 2B200-0000-022-315-31	血漿0.3		冷蔵	1~2	70血液	合成基質法	80~120 %		肝硬変 肝癌 心筋梗塞 DIC 先天性アンチトロンビン欠乏症
0429	FDP (フィブリン分解産物)	血漿0.3	23	冷蔵	1~2	80血液	ラテックス免疫比濁法	5.0未満 μg/mL	※01	DIC 血栓性静脈炎 血栓性血小板減少性紫斑病 減少性紫斑病
0430	2B120-0000-022-062-01 2B120-0000-001-062-01	尿1.0	11	冷蔵	3~5	72尿糞	ラテックス凝集法	0.1以下 μg/mL		抗プラスミン剤とトロンビン入り容器に新鮮尿1.0mL採取し、容器のままご提出下さい。 番尿は不可。
5499	可溶性フィブリンモノマー複合体 (SFMC) 2B110-0000-022-101-11	血漿0.3	23	冷蔵	3~5	93血液	凝集反応	陰性	※01	DIC 血栓症 凝固亢進
4526	フィブリンモノマー複合体 (FM定量) 2B110-0000-022-062-01	血漿0.3		冷蔵	3~6	233 <sup>①</sup> 血液	ラテックス免疫比濁法	6.1以下 μg/mL		単独検体でご提出ください。
1204	D-Dダイマー定量 2B140-0000-022-062-01	血漿0.3		冷蔵	1~3	141血液	ラテックス免疫比濁法	1.0以下 μg/mL		血栓症 DIC 肝疾患 体内凝固亢進状態
5495	α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PIC) 2B260-0000-022-062-01	血漿0.3		冷蔵	3~4	162血液	LA法	0.8以下 μg/mL		DIC 悪性腫瘍 肝硬変 血栓性血小板減少性紫斑病 線溶療法時のモニタリング
3249	トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT) 2B210-0000-022-052-01	血漿0.4		冷蔵	3~4	191 <sup>①</sup> 血液	CLEIA法	4.0未満 ng/mL	組織液混入不可	静脈血栓症 DIC 閉塞性動脈硬化症 脳梗塞 体内凝固亢進状態
2593	プロトロンビンフラグメントF1+2 2B170-0000-022-023-01	血漿0.3		冷蔵	3~5	193 <sup>①</sup> 血液	ELISA法	69~229 pmol/L		ワーファリン療法時のモニター 体内凝固亢進状態 DIC
0456	プロテインC活性 2B700-0000-022-311-31	血漿0.4		冷蔵	3~5	255血液	凝固時間法	64~146 %		先天性プロテインC欠乏症 DIC
5215	プロテインC抗原量 2B700-0000-022-062-01	血漿0.3		冷蔵	3~6	247血液	LPIA法	70~150 %		肝硬変 肝癌 抗ビタミンK製剤服用時
4963	プロテインS活性 2B710-0000-022-311-31	血漿0.4		冷蔵	3~5	170血液	凝固時間法	M 67~164 % F 56~126 %		先天性プロテインS欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与
1101	プロテインS抗原量 2B710-0000-022-023-01	血漿0.2		冷蔵	3~7	167血液	EIA法	65~135 %		プロテインS欠乏症
4575	ループスアンチコアグラント 5G501-0000-022-311-01	血漿1.0		冷蔵	3~5	281 <sup>②</sup> 免疫	希釈ラッセル蛇毒時間法	1.3未満	注1	血栓症 習慣性流産 SLE

- ① フィブリンモノマー複合体は、DIC、静脈血栓症又は肺動脈血栓塞栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。  
フィブリンモノマー複合体、TAT、プロトロンビンフラグメントF1+2のうちいずれか複数を同時に実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ② ループスアンチコアグラント定量及び定性は、希釈ラッセル蛇毒試験法又はリン脂質中和法により、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。

注1… 専用容器で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに冷却遠心器を用い1700G以上15分間遠心後、上清の表面よりやや下の部分を1mL採取し、凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。

※遠心器回転数の計算式  

$$G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$$

r : 遠心器のローター半径 (cm)  
 n : 1分間あたりの回転数 (rpm)



血液学的検査